

平成29年度第3四半期連結決算概要

平成30年1月30日
東海旅客鉄道株式会社

- ・当社の運輸収入は、**ビジネス、観光ともにご利用が順調に推移したため増収。JRゲートタワー開業に伴う増収もあり、連結営業収益全体でも増収。**
- ・営業費は、**JRゲートタワーの開業に伴う費用の増等により増加したものの、増収・増益**（営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益）**の決算。**
- ・通期の業績予想については、**前回予想を据え置く。**引き続き安全・安定輸送の確保を最優先に、グループ全体で収益力の強化と設備投資を含めた業務執行全般にわたる効率化・低コスト化を徹底し、経営体力の充実を図る。

1. 連結損益の概要（累計）

(1) 営業収益（1兆3,743億円 前年同期比+555億円、4.2%増）

- ・当社の**運輸収入は、前年同期比356億円（3.6%）増の1兆344億円。**
 - ・東海道新幹線については、「のぞみ10本ダイヤ」を活用して、需要にあわせたより弾力的な列車設定を実施するなど、輸送サービスの充実に取り組んだ。また、昨年9月に開始した東海道・山陽新幹線の新しいネット予約・チケットレス乗車サービス「スマートEX」のご利用の拡大を図った。
 - ・在来線については、「しなの」、「ひだ」等の特急列車について、引き続き需要にあわせ弾力的に増発や増結を行い、ご利用の拡大に努めた。
 - ・上記の結果、当第3四半期の東海道新幹線の運輸収入は前年同期比347億円（3.8%）増の9,547億円、在来線の運輸収入は前年同期比8億円（1.1%）増の796億円となった。
- ・鉄道以外の事業においては、既存事業の強化に努めるとともに、昨年4月に全面開業したJRゲートタワーについて、JRセントラルタワーズと一体的に運営し、積極的な営業・宣伝活動を行った。JRゲートタワーの開業に伴い売上が増加したことなどから、グループ全体でも増収。

(2) 営業費（8,125億円 前年同期比+84億円、1.1%増）

- ・山梨リニア実験線の減価償却費が減少したものの、当社の技術開発等の費用やJRゲートタワーの開業に伴う費用が増加したことなどにより、グループ全体では増加。

(3) 営業利益（5,618億円 前年同期比+470億円、9.1%増）**(4) 営業外損益（△579億円 前年同期比△162億円）**

- ・中央新幹線建設長期借入金による支払利息の増加等に伴い営業外費用が増加。

(5) 経常利益（5,039億円 前年同期比+308億円、6.5%増）**(6) 親会社株主に帰属する四半期純利益（3,397億円 前年同期比+86億円、2.6%増）**

2. 長期債務の概要

- ・長期債務の当第3四半期末残高は、昨年7月までに中央新幹線建設長期借入金1兆5,000億円の借入を実施したことなどにより、4兆8,937億円となった。

3. 平成29年度の業績予想

- ・通期の業績予想については、前回予想を据え置く。

※ 金額は単位未満端数切捨（補足説明資料2以降についても同じ）

比較第3四半期損益計算書【連結】

(単位 億円、%)

科 目	平成28年度 累 計	平成29年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	13,188	13,743	555	104.2
運 輸 業	10,369	10,735	366	103.5
流 通 業	1,660	1,784	123	107.5
不 動 産 業	293	347	53	118.4
そ の 他	864	875	11	101.3
営 業 費	8,040	8,125	84	101.1
営 業 利 益	5,148	5,618	470	109.1
営 業 外 損 益	△ 417	△ 579	△ 162	138.8
営 業 外 収 益	39	51	11	129.3
営 業 外 費 用	457	631	173	138.0
経 常 利 益	4,730	5,039	308	106.5
特 別 損 益	△ 29	△ 226	△ 196	756.2
税金等調整前四半期純利益	4,700	4,812	112	102.4
法 人 税 等	1,407	1,473	66	104.7
四 半 期 純 利 益	3,293	3,339	45	101.4
非支配株主に帰属する 四 半 期 純 損 失 (△)	△ 17	△ 58	△ 40	327.3
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	3,311	3,397	86	102.6
四 半 期 包 括 利 益	3,410	3,541	131	103.9

(注) 営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

比較第3四半期損益計算書【単体】

(単位 億円、%)

科 目	平成28年度 累 計	平成29年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	10,461	10,851	389	103.7
運 輸 収 入	9,987	10,344	356	103.6
そ の 他 の 収 入	474	506	32	106.9
営 業 費	5,464	5,503	38	100.7
人 件 費	1,346	1,351	4	100.3
物 件 費	2,267	2,385	118	105.2
租 税 公 課	297	306	8	102.9
減 価 償 却 費	1,552	1,460	△ 92	94.0
営 業 利 益	4,996	5,347	350	107.0
営 業 外 損 益	△ 412	△ 573	△ 161	139.1
営 業 外 収 益	41	47	5	114.4
営 業 外 費 用	454	621	167	136.8
経 常 利 益	4,584	4,773	189	104.1
特 別 損 益	△ 0	1	2	—
税 引 前 四 半 期 純 利 益	4,583	4,775	191	104.2
法 人 税 等	1,343	1,437	93	107.0
四 半 期 純 利 益	3,240	3,338	97	103.0

輸送人キロおよび運輸収入の比較（第3四半期）

（単位 百万人キロ、億円、％）

			平成28年度 累 計	平成29年度 累 計	増 減	前期比	(参考) 平成29年度 10～12月	前期比
輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定 期	1,107	1,128	22	102.0	377	102.0
		定期外	38,993	40,526	1,533	103.9	13,987	104.3
		合 計	40,099	41,654	1,555	103.9	14,365	104.2
	在 来 線	定 期	4,305	4,342	37	100.9	1,450	100.8
		定期外	2,827	2,865	37	101.3	946	100.5
		合 計	7,132	7,207	74	101.0	2,396	100.7
	合 計	定 期	5,412	5,470	59	101.1	1,827	101.1
		定期外	41,820	43,390	1,570	103.8	14,933	104.0
		合 計	47,232	48,861	1,629	103.4	16,761	103.7
	運 輸 収 入	新 幹 線	定 期	131	134	2	101.8	44
定期外			9,067	9,413	345	103.8	3,253	103.8
合 計			9,199	9,547	347	103.8	3,298	103.8
在 来 線		定 期	265	267	2	101.0	88	100.9
		定期外	523	529	6	101.2	173	99.9
		合 計	788	796	8	101.1	262	100.2
合 計		定 期	396	401	4	101.2	133	101.3
		定期外	9,590	9,942	351	103.7	3,427	103.6
		合 計	9,987	10,344	356	103.6	3,561	103.5
合 計 (小荷物含む)		9,987	10,344	356	103.6	3,561	103.5	

- (注) 1. 当社単体に係る輸送人キロおよび運輸収入を記載
2. 輸送人キロは単位未満端数四捨五入

比較第3四半期貸借対照表【連結】

(単位 億円)

科 目	平成28年度 期 末	平成29年度 第3四半期末	増 減
流 動 資 産	22,103	37,984	15,881
うち 中央新幹線建設資金管理信託	14,727	28,409	13,681
固 定 資 産	48,423	50,060	1,637
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	45,211	45,244	32
投 資 そ の 他 の 資 産	3,211	4,816	1,604
資 産 合 計	70,526	88,045	17,518
流 動 負 債	5,553	5,031	△ 521
固 定 負 債	37,705	52,675	14,969
うち 中央新幹線建設長期借入金	15,000	30,000	15,000
負 債 合 計	43,259	57,706	14,447
純 資 産 合 計	27,267	30,338	3,071
負 債 純 資 産 合 計	70,526	88,045	17,518

(再掲) 長期債務	33,954	48,937	14,982
中央新幹線建設長期借入金	15,000	30,000	15,000
社 債	7,242	7,442	200
長 期 借 入 金	6,173	5,980	△ 193
鉄道施設購入長期未払金	5,538	5,514	△ 23

長期債務の残高見込額【連結・単体】

(単位 億円)

科 目	平成28年度 期 末 (実績)	平成29年度 第3四半期末 (実績)	平成29年度 期 末 (見込)	年間増減 見込額
長 期 債 務 残 高 (連 結)	33,954	48,937	48,594	14,640
長 期 債 務 残 高 (単 体)	33,690	48,934	48,590	14,900
中央新幹線建設長期借入金	15,000	30,000	30,000	15,000
そ の 他 の 長 期 債 務	18,690	18,934	18,590	△ 100

参考:比較第3四半期セグメント別営業損益

(単位 億円、%)

科 目	セグメント	平成28年度 累 計	平成29年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	運 輸 業	10,457	10,824	366	103.5
	流 通 業	1,734	1,879	144	108.4
	不 動 産 業	495	582	87	117.6
	そ の 他	1,640	1,695	54	103.3
	調 整 額	△ 1,140	△ 1,238	△ 98	108.6
	計	13,188	13,743	555	104.2
セグメント利益 (営業利益)	運 輸 業	4,971	5,323	351	107.1
	流 通 業	50	58	7	114.7
	不 動 産 業	144	150	6	104.2
	そ の 他	△ 14	99	113	—
	調 整 額	△ 3	△ 12	△ 8	335.3
	計	5,148	5,618	470	109.1

(注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む

2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去